

伝えられている。なお上部の中央部に柱を建てたらしいや、長方形の、深さ一〇センチの穴がほられてある。

また、こんな話もある。幕末の頃、矢部某なる人が空を飛ぶ鳥を見て、人も飛べないものかと雀の各部を秤にかけて詳しく調べ、自分の体に似合うように翼を造つて身につけ、この岩より飛び下りた。しかし、うまく飛ぶことができず下方のもだにひっかかって一命をとりとめたのだという。この人は空へのあこがれの先駆者と評されている。

(話者 桑名四郎)

地藏岩の話

《長沼》

弥五山の東方、北に面する斜面に地藏岩がある。岩そのものの形になぞらい、名づけられたものと思われる。地藏尊はその西方の岩壁の上に建てられていた。

この地藏岩は多くの人々に親しまれ、眺めのよいところから、旧三月初酉の日には家を挙げて出向いたという。その広さは畳五、六枚ほどもあり、子どもたちの山遊びにも利用されていた。惜しいことに

ハケゴ石

